

## 「第 65 回全国学校薬剤師大会」及び 「第 65 回全国学校保健・安全研究大会」に参加して

千葉県学校薬剤師会  
副会長 大野 定行

「第 65 回全国学校薬剤師大会」及び「第 65 回全国学校保健・安全研究大会」が、12月3日4日愛媛県松山市において開催されました。

「第 65 回全国学校保健・安全研究大会」は、学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育の推進を目的に、「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進—健康で安全な生活を送るために自ら実践できる子供たちの育成—」を主題に開催されました。



今年、千葉県からは流山市立長崎小学校の学校薬剤師である山崎邦秀先生が文部科学大臣表彰を受けられました。当日はご都合が悪く御出席なされず、口頭での発表となりましたが、山崎先生、受賞おめでとうございます。

本年度は、全国学校保健・安全研究大会開会式の前に学校薬剤師会主催による市民公開講座として、松山市立子規記念博物館 竹田美喜館長による「子規の最後一糸瓜の水も間にあわず」の特別講演が開かれました。多くの市民の方が聴きにいられておりました。

正岡子規は近代俳句の祖、俳句革新を明治期に成し遂げた俳人として称されています。子規は松山藩の士族として生まれ 34 歳で亡くなりました。本講演では、子規が病床に臥し、最後の時を迎えるまでのお話をされ、子規の偉業はその殆どが病床で成されたものであること、門下の俳人や家族の支えがあったことはもちろん、子規自身が迫りくる死を感じながら自己の存在を賭けた戦いの中で生まれたものを、その時の心情を歌った俳句を示しながら説明されました。子規の壮絶な人生を知る機会となりました。

午後からは、「第 65 回全国学校薬剤師大会」が「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進—かがやけ学校薬剤師—」を主題として、学校薬剤師は学校環境衛生の維持及び改善に関する指導助言を通じ健康的で快適な学習環境を作ると共に、くすりの正しい使い方、危険ドラッグ、喫煙、飲酒等の危害などや食に関する正しい知識の普及・啓発活動が必要となってきます。学校薬剤師はそれに対応できるように研鑽を重ね、学校組織等と協力体制のもと学校保健安全に貢献することを目的として開催されました。

開会式後の表彰式では、平成 27 年度日本薬剤師会学校薬剤師賞表彰があり、千葉県からは千葉県学校薬剤師会元会長・現相談役の麻生忠男先生が受賞されました。おめでとうございます。また麻生先生は、受賞者代表として謝辞を述べられました。

2 日目は課題別研究協議会があり、10 課題に分かれて開催されました。

私は 第 6 課題 学校環境衛生

—快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方—に参加してきました。

最初に学校環境衛生活動の現状と課題—養護教諭・保健主事の役割—の演題で東京薬科大学教授北垣邦彦先生の講義がありました。学校環境衛生検査は必ずしも完全実施されていない状況にあることから、学校の環境を整えることは教職員のみならずすべての大人の責務であること。学校環境が適切に維持管理されるには、環境検査がその判断材料となること。これらを踏まえて学校薬剤師のみならず、学校の意識改革を養護教諭や保健主事が中心となって進めていってほしいと述べられていました。

研究発表として、以下の 3 名の先生方の発表がありました。

### ① 愛知県小牧市立北里小学校養護教諭 丹羽 敦子先生

清潔な環境で給食を食べるために、意識して行動できる児童の育成をめざして

—委員会活動と学級活動を中心とした給食時の清潔指導を通じて—

学校環境衛生活動における日常点検において、課題としてあげられた給食活動時の衛生管理や教室の環境について、学校薬剤師との連携の下、校内研修を通じて教職員の意識改革を促し、児童の委員会活動や学級活動を通じて指導、改善を図った取り組みについて発表されました。

### ② 愛媛県立今治東中等教育学校養護教諭 三浦 恵子先生

学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について

—中高一貫教育校の特色を生かした実践と課題—

学校薬剤師による定期学校環境衛生検査や、全職員が安全点検と併せて実施する日常点検など、衛生管理の徹底とともに指定事業を活用した環境衛生教室の開催、後期課程生徒（高校生）による前期課程生徒（中学生）への保健指導の実施など、中高一貫教育校の特色を生かした取り組みについて発表されました。

### ③ 高知県立春野高等学校教諭 山岡 ゆう子先生

生徒が主体的に取り組む学校環境衛生活動の在り方

—生徒保健委員会の取り組み—

社会人として必要なコミュニケーション力の育成を目指し、指導に当たっている生徒保健委員会の活動について、高知県高等学校学校保健会生徒保健委員会研修会への参加を契機に、生徒が主体的に取り組んだ感染症予防のための環境衛生活動の取り組みについて発表されました。

3 名の先生方の発表を通じて、快適な学習環境をつくるためには、学校環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が環境衛生について関心を持つこと・持たせることが必要であり、児童生徒が主体的に取り組めるような環境作りが大切である。また、保健管理を保健教育に生かすという視点から、学校環境衛生活動を生かした健康教育の在り方について考えていかなければいけないと述べられていました。我々学校薬剤師も、教職員と共に保健教育にも努めていかなければいけないと感じました。

本大会は全国の学校薬剤師の先生方と交流でき、とても充実した大会です。

来年は北海道札幌市にて 10 月に開催されます。是非とも先生方のご参加をお待ちしております。